

## 上田農水土地改良区連合頭首工と小牧地区内を歩く

11月5日(日)、20名の皆さんにご参加いただき、「諏訪形誌を歩く第11回イベント」が行われました。今回は上田農水頭首工まで足を運び、その後、小牧地区内を散策するという半日の日程で行われました。また今回のイベント開催にあたっては、諏訪形水利組合長の相田賢治さん、小牧の歴史研究者の宮島かつ子さんと清水貞旨さんにたいへんお世話になりました。心よりお礼申し上げます。



当日は晴天。「諏訪形誌を歩く」のイベントは毎回晴天に恵まれています。紅葉が始まった諏訪形を歩いて、頭首工に向かいます。



頭首工では相田組合長が迎えてくださり、頭首工の歴史や役割などについてお話いただき、その重要性について再認識しました。また、施設の中も見学させていただきました。

その後、徒歩で小牧に向かいます。小牧の東はすれ「渡部園芸」さんには「眞田十勇士」の石像があります。あまり知られていないのかもしれませんが、なかなかの迫力です。



次に「四箇牧神社」を見学します。この地域では数少ない住吉神社で、地元では「住吉様」と呼ばれているようです。住吉神社は交通や海運に関わる神様なので、このあたりは昔、交通の要衝だったのではないかと考えられます。事実、昭和30年代までは千曲川の対岸に渡る「渡し船」が運航されていたとのことです。



鎌倉山大福寺は、現在では無住となってしまっていますが、真言宗智山派の寺院で、塩田の前山寺の末寺です。以前は、現在の場所よりも東寄りの「六供」という地籍に6伽藍を持つ大寺でしたが、岩下氏の戦いで焼け、現在の場所に移転したとのこと。多くの石仏なども安置されています。



その後、小牧地区内のあちこちを散策しました。この地域は上田市に先駆けて水道施設が整備されたり、自前の図書館を持つなど、先進的な場所です。それを支えた経済的な裏付けともなる養蚕業、蚕種業が盛んだったことを示す農家の建物が今でも多く残っています。また、銭湯や火薬工場もあった、という歴史を、諏訪形誌活用委員会北沢伴康顧問の名調子による解説で、たいへん楽しく充実したイベントとなりました。



### ご参加いただいた皆さんの感想

- ・(頭首工を見学して) これがここにあることさえ知らなかったです。水の管理などについての苦労話をお聞きして、田んぼだけでなく、植木に水をやるにしてもありがたいことだと思いました。これから水を飲むときには感謝して飲みますわ。
- ・(小牧地区内を散策して) あたりまえのことをみんなで守っている様子を見て、改めて感慨深いものを感じました。六地藏や廻り場、四箇牧神社での北沢さんの話は大変興味が持てました。いつかまた、孫を連れて一緒に歩きたいと思いました。

3年目の「諏訪形誌を歩く」イベントは今回で終了です。来年は2月に北沢顧問の講演会、3月末か4月はじめには「中之条の徳本上人名号碑を巡る」を予定しています。諏訪形の皆さんはもちろん、自治会委員以外の皆さんのご参加もお待ちしています。詳しくは自治会回覧とWeb上でお知らせします。